

高校生のためにChemical Fun Videoを作ろう

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2021年07月24日 ～2021年09月04日	日本	ウィディアマンダーラカトリック大学スラバヤ 台湾科技大学 大阪工業大学	・応用化学科 ・学部1年生 ・学部2年生 ・学部3年生 ・学部4年生	(芝浦工業大学) 学生10名、TA4名、教員1名、職員1名 (ウィディアマンダーラカトリック大学スラバヤ) 学生16名、TA2名、教員3名 (台湾科技大学) 学生1名、教員1名 (大阪工業大学) 学生8名、教員3名 (ウィディアマンダーラカトリック大学高校) 学生16名、TA2名、教員3名 (芝浦工業大学柏高等学校) 学生2名、教員1名	吉見 靖男(応用化学科)

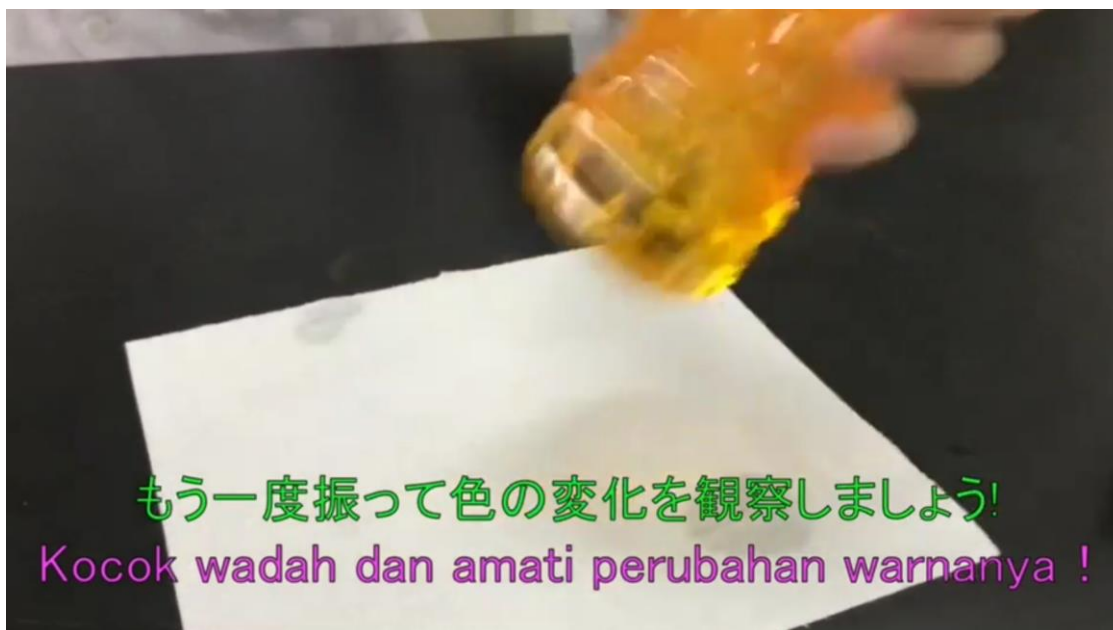


図1 プレゼンテーションのワンシーン

8-9月に予定されていた受入PBLおよびNTUST(台北)への派遣PBLは、今年もCOVID-19のパンデミックのため中止を余儀なくされた。往來がなくとも参加者が国を超えて共同作業できるようなプログラムとして、「高校生に化学の面白さを伝えるChemical Fun Video」を製作して競わせるという企画を立て、以下の様に実施した。

- (1) 国が異なる参加者より成る8つのチームを編成した。
- (2) 各チームで実験用ビデオと説明用ビデオの企画を立てた。
- (3) 企画についてプレゼンし、相互に批評した。
- (4) 動画を作成した。
- (5) YouTubeに限定公開した。
- (6) 動画を見た高校生に評価してもらった。(本学オープンキャンパスでも公開)
- (7) 評価の高いチームを表彰した。

高校生からの評価は総じて高いものであった。リモートではあっても、参加者は共同作業を通して、国を超えた友情を育めた様子であった。またWMCUの参加者のうち数名は、本学の短期留学コースの授業を履修している。

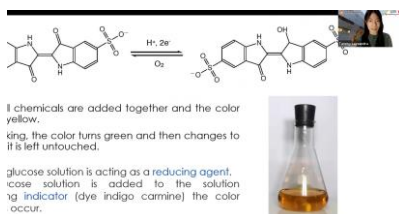


図2 プレゼンテーションのワンシーン

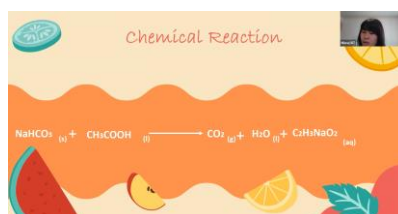


図3 最も評価の高かった実験



図4 最も評価の高かったビデオのサムネイル

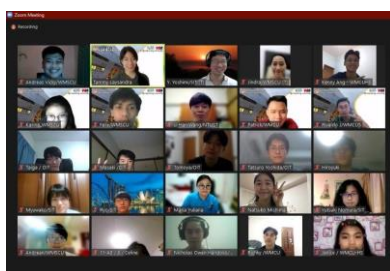


図5 集合写真